

ご報告 孟蘭盆施餓鬼秘法会について



ご本山・孟蘭盆施餓鬼秘法会

ご本山では7月13日から3日間、「孟蘭盆施餓鬼秘法会(うらぼんせがきひほうえ)」が厳修されました。この孟蘭盆施餓鬼秘法会は、有縁無縁一切のご先祖様をご本山にお迎えして、3日間にわたり合計十二座の法要が勤められ、二夜三日にわたりお茶水や刻み精進具などの供物、また光明真言を不断に唱え続けてご供養のまことを積み上げさせていただくものです。

今年度は当山より親先生が二夜三日のお参りをいただきました。その中に、ご先祖供養の有難さと来年度以降お時間の許す方は、是非、この法要の御勝縁にお会いされますようにと「おじひ」をいただかれましたので、来年の法要のご参加をお待ちしております。

解説 孟蘭盆施餓鬼秘法会について

読み方は「うらぼんせがきひほうえ」です。孟蘭盆とも呼ばれ、一般的にはお盆と言われます。言葉の由来は、サンスクリット語の「ウランバーナ」の音写語という説があります。ウランバーナは「逆さ吊り」という意味。この逆さ吊りの苦しみを解放するという意味合いで、次のような逸話が残っています。

お釈迦様の十大弟子の一人である目連は、神通力の持ち主です。ある日、目連は、亡くなった母親が今どうなっているかを神通力を用いて確認します。すると、母親は、餓鬼道(飢えと渴きに苦しむ世界)に落ち、逆さ吊りにされて飢えと渴きに苦しんでいる姿になっていました。母親は目連を溺愛するあまり、他人を顧みなかったため、餓鬼道に落とされてしまったのです。逆さ吊りにされ、飢えに苦しむ母親を救おうと、目連は水や食べ物を差し出しましたが、口に入る直前に燃え尽きて灰になってしまいます。それを見た目連は何とか母親を助けようとしませんが、うまくいきません。嘆き悲しんだ目連はお釈迦様に「母を救いたい」と相談します。お釈迦さまは、「7月15日(旧暦)に、すべての修行僧に食べ物や飲み物・寝床を施せば、母親の口にも施しの一端が入るだろう」と目連を諭しました。後日、目連はお釈迦様の教えのその通りに実践します。その功德は餓鬼道の世界にも伝わり、母親は救われました。お釈迦様は目連尊者に、自分の母親だけでなく、飢えに苦しむ多くの人々を救う気持ちで布施(施し)を行うことが大切だと説いています。

編集後記

暑い夏、お同行様におかれましては、水分・塩分の補給等、体調管理に万全を尽くしてお過ごしくださいませ。
8月はお盆の季節となります。ご先祖供養の大切さを説かれる宗祖上人のみ教えに沿って、至心に廻向させていただきましょう。

編集担当:宮原実念・中山賢一

8・9月の行事案内

お盆期間の行事案内

8月13日(水)から15日(金)



8月13日 午後5時
精霊迎え
8月14日 午前10時20分
孟蘭盆施餓鬼秘法会
8月15日 午後1時
初盆供養
午後3時
百万遍供養

※お申し込みは、8月5(火)迄に、お願い致します。

初代住職 十回忌法要

二代目住職 三回忌法要

○8月24日(日)10時20分から
二代目住職三回忌法要

○8月31日(日)10時20分から
初代住職十回忌法要並びに立像のお披露目法要(前号にてご案内させていただきました、田島先生の立像をお迎えし、お披露目をさせていただきます。
※お申し込みを受付け中です。

ご本山・五重宝塔大法要

9月14日(日)午前11時より



昭和41年に落慶した五重宝塔は、本宗に縁のあるご先祖様をはじめ、民族や宗旨宗派を問わず、世界の多くのご先祖様の御霊を奉安する「世界の総菩提所」として建立されました。この法要にお一人でも多くのお同行様のご参拝をお待ちしております。また、ご参拝出来ないお同行様におかれましては、花一輪のご供養(献花:一束500円)のお真をお供えいただき、五重宝塔を花の浄土に致しましょう。お申込みに付きましては、後日ご案内させていただきます。